

編集部あてに届く
ご意見、ご感想を掲載し、
読者と編集部、読者相互の
交流を育むページです。

■第78号の豆腐特集、興味深く拝読しました。昨年冬に家族旅行で鳥取に来た際、豆腐ちくわの工房に立ち寄り、親子で手作り体験をしました。おいしい水に恵まれて出来るおいしい豆腐、そして海の幸豊かな鳥取。鳥取ならではの商品が、今後も皆に愛されますように。

埼玉県さいたま市 柴原 早苗

■数年前に夫婦で鳥取へ旅をした時、初めて豆腐ちくわの存在を知りました。「こんな美味しい物があるとは!!」。そして、近所のスーパーで探してみると、なんと陳列されていたのです。それ以来、豆腐ちくわは、酒のつまみにかかせません。

大阪府高槻市 沖胡 博雅

若桜町の父の実家に行くと、必ず食卓に並んでいた豆腐ちくわ。幼いころから、当たり前のように食べていたので、私も大人になるまで全国的に珍しい食べ物だとは、露知らず…。「当たり前」が実は「誇れるもの」だったりすることは、意外に身近にあるのかも。

■「夢追うガイナレ鳥取」じっくり読みました。我が地元にも「カターレ富山」というJFLチームがあります。ガイナレとの対戦結果を新聞でよく見えています。今回の特集で、チーム事情がよくわかり、クラブの熱い気持ちが伝わってきました。台所事情は厳しいようですが、ぜひJ2昇格を!応援しています。

富山県高岡市 堀田 薫

■ガイナレのJ2への道のりは厳しいようですが、監督、コーチ、選手、そしてサポーターが一丸となって、頑張りたい。昇格を心から祈っています。

大阪府大阪市 泉谷 和男
県外の方からも応援されているなんて、選手たちも嬉しい限りでしょう。「みんなの夢」を叶えてもらいたいですね。

■カメラアイの浦富海岸、素晴らしかったです。マリンブル一の海の色、眺めているだけで涼味満点でした。撮影者の「誰かに伝えたい」とのコメント、納得です。

愛知県東浦町 近藤 敏彦

鳥取には浦富のほかにも、美しい海がたくさんあります。実際、自分の目に焼き付けてみると、忘れられなくなること間違いなし!秋の海も良いですよ。

■78号のまちなみ散歩は、私の故郷である智頭町が載っており、嬉しくなりました。そして「歴史発見」。日本交通の創業者が鳥取出身の方だったとは。素晴らしい功績ですね。岐阜から鳥取、京都から鳥取など、いつも日交タクシーさんにお世話になっていますので、とても興味深かったです。

岐阜県各務原市 福本多恵子

澤さんの貫いた4つの信念は、時代が変わろうとも、物事を成し遂げるうえで共通することでしょう。なかでも「忍耐」が、どんどん失われつつある現代は、何かがおかしくなっていく一方。先人の教えを大事にしたいものですね。

■『とっとりNOW』が届く日が待ち遠しく、楽しみにしています。川崎俊行さんが写真集『東郷池』を出版された記事(「話題あれこれ」コーナー)を見て、幼い頃、倉吉の親戚に東郷池に連れて行ってもらい、ウナギ釣りをした楽しい思い出がよみがえりました。

大阪府河内長野市 角田 泰弘

川崎さんの写真には、東郷池への「愛」があふれているようです。見慣れていると思っている近隣の方々も、写真集を見れば、新たな池の表情に出会えることでしょう。

▼好奇心(「知的」と呼べるかは不明ですが)の幅が年々広がる一方の私は、取材前は毎回、新たな場所、出会いにワクワクします。▼取材対象者は、もちろんすべて初対面。「取材って緊張しない?」とよく聞かれますが、「縁がある人に悪い人はいない」と自分に都合よく考える性格から、緊張とはほぼ無縁なのです。▼さて、今回もメニューは多彩。小学生以来の社会見学に目を丸くし、木登り(ツリーイング)に、「甘くみた感」を痛感しつつも超満喫し、遊YOU村の自然を堪能…もしや仕事で息抜き?と「誤解」されるかも(汗)。▼表面的なものしか見えない「観光」より、奥深い魅力がわかることが「取材」。そこをお伝えしたいのです。▼ Mottoは「人を感動させるには、まず自分が感動」。誌面を見てもらえば、きっと「ワクワク」してもらえます!?

編集
後記

(西村)